

会社化し、漁業を経営！！

竜祐丸水産 築脇 竜也さん 45歳

漁業暦14年

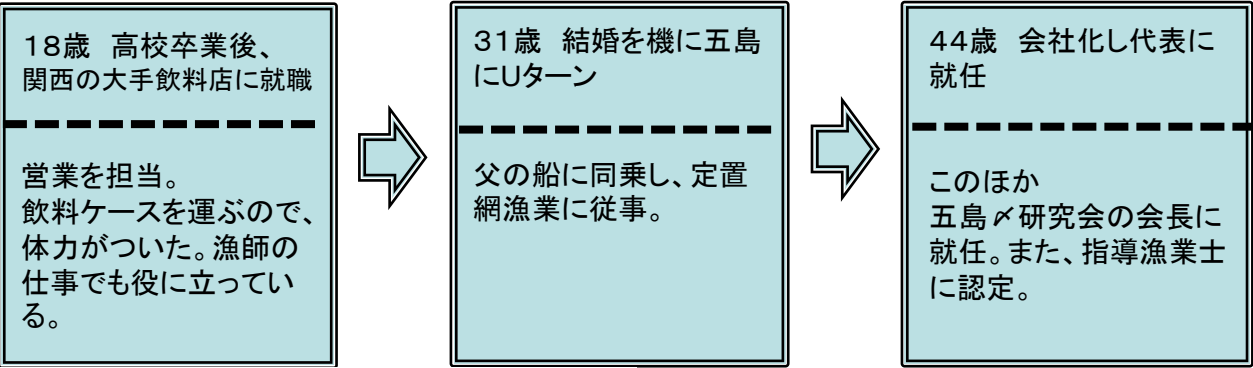
築脇さんは大宝地区で大型定置漁業を営んでいます。

築脇さんは代々漁師の家系に生まれました。父は一本釣りの漁師でしたが、定置網を創業し、はじめは小さな規模だったので獲れる量も少なく、大変な仕事の割りに生活は楽ではありませんでした。その様子を子供の頃から見ていたので、漁師になりたいとは思っていませんでした。むしろなりたくありませんでした。また、船にもあまり乗っていませんでした。父は仕事に非常に熱心で、努力の末、現在の規模・構造の定置網を持つようになり、水揚げも増えました。

一方、築脇さんは高校卒業後、関西の大手飲料店に就職し、営業の仕事に就きました。同じ大宝出身の同級生と結婚を機に、五島に帰ってきました。父と一緒に船に乗り、漁師になりましたが、網を仕立てたり網の状態を見たりといった仕事は難しく慣れるのに6～7年かかりました。自分ではまだまだだと感じているそうです。天気に左右される仕事なので大変なことは多いですが、やはり、魚が獲れたときや、取扱い方や、出荷のタイミングを工夫して高く売れたときはやりがいを感じそうです。



経歴



築脇さんの仕事について



操業

出港時間は潮に合わせるので、様々ですが、午前中に操業します。獲った魚は船の魚槽に活かしこみます。



出荷作業

基本的に魚は活魚で出荷します。船に活かしている魚を港の生簀に移します。魚が大量に獲れたときや、活かさない魚はめて出荷します。



網補修など

出荷が終わったら、網の補修や船のメンテナンスなどをします。日々の漁に備える大事な仕事です。



（趣味・地域の活動）

仕事が終わるのが早い時間なので、比較的自由に使える時間があります。子供がソフトボールチームに所属。コーチとして週に5日指導しています。



自身もソフトボールチーム2つを掛け持ちで所属しています。

また、商工会に所属しており、夕日鑑賞会やカマス釣り、カヌー体験などのイベントにも協力しています。

公私共に忙しく、充実した毎日を送っています。

漁業就業を目指す方へ

定置網漁業に限らず漁業は、家族の協力が得られればいい仕事だと思います。時間の自由がきき、子供と過ごす時間が増えます。漁村地域は近所づきあいがあるので、周囲からの協力が得られる一方で、付き合いが大変と思う方も居るかもしれません。1～2年の経験ではものになりませんが、根気強く続けると、仕事も分かってきて、周りもついてきます。



築脇さんの本音チャート

